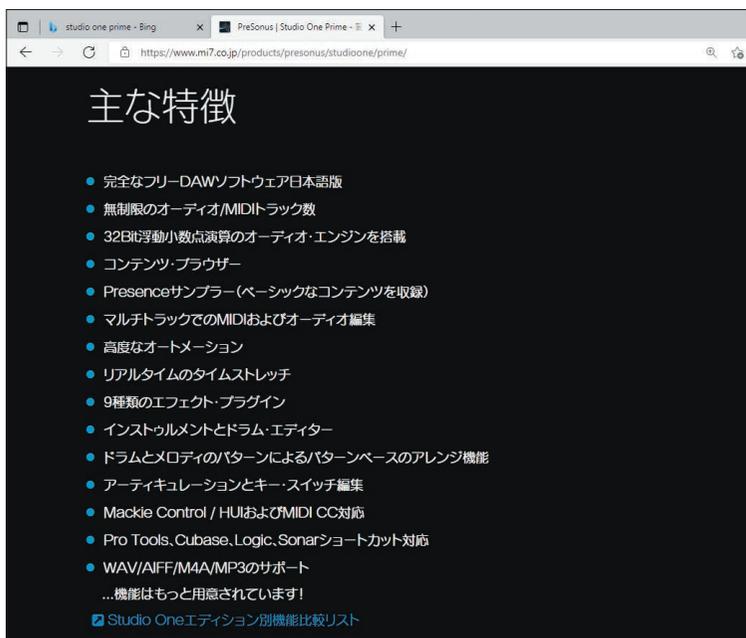
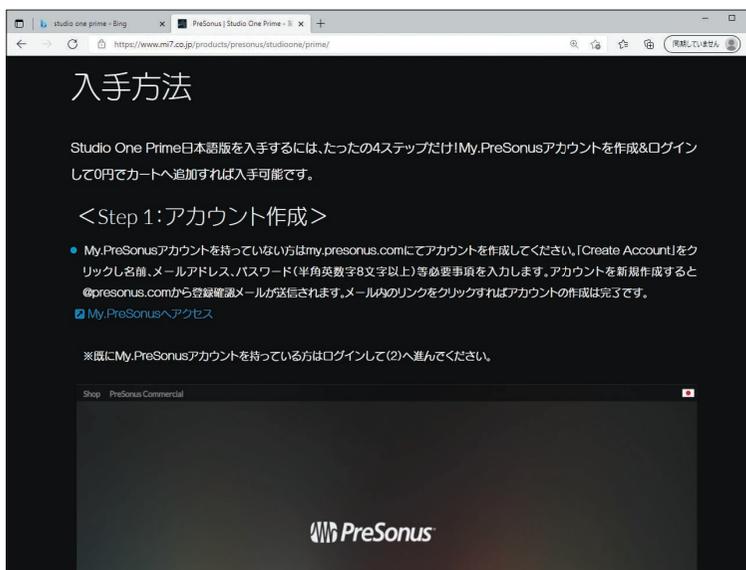


5 ソフトの解説や特徴などに目を通しておきます



難しいキーワードがたくさん書かれていますが、最初は目を通すだけで構いません

6 「Primeの入手方法」を読みます



さらにスクロールバーを移動して、下のページを表示させていきます

「Primeの入手方法」という項目を、しっかりと読んでおきます

ヒント

「Primeの入手方法」に説明されている入手の手順を簡単にまとめておきます。



※四角で囲んだ箇所の手順が省略されました。
(本書レッスン11、12)

10 会員登録の手続きをしよう

キーワード アカウント作成

「アカウント」というのは、インターネットやパソコンのソフトを利用すると利を得るために、住所、氏名、電話番号、メールアドレスなど、いくつかの個々に必要な「使用権利」のことです。権

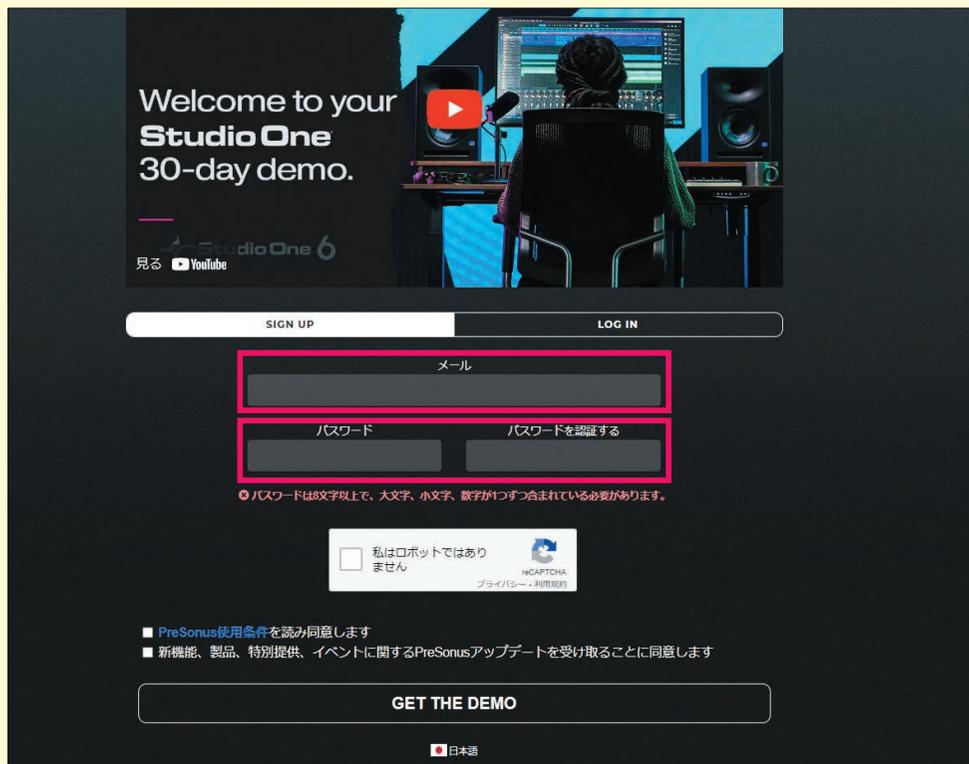
号、メールアドレスなど、いくつかの個人情報に関する項目が必要になります。

メールアドレスとパスワードを用意しましょう

●アカウントの作成

アカウントを作成するには、メールアドレスとパスワードのセットで登録されることが一般的です。銀行ATMでお金を

引き出すときのカードと暗証番号のようなものですので、このふたつはしっかりと管理しておく必要があります。



※サイトのデザインと一部のテキストが変更されました。

1 アカウント作成をするためのページへ移動します

入手方法

Studio One Prime日本語版を入手するのは簡単です。Studio Oneデモ版をGETして、初回起動時にPrimeエディションを選ぶだけです。

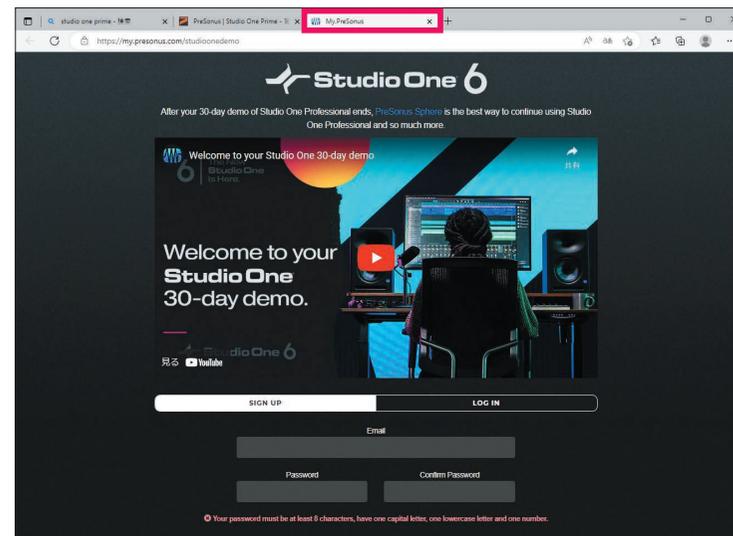
<Step 1: デモ版をGET>

- Studio Oneデモ版ページへアクセスし、メールアドレスとパスワード(半角英数字8文字以上で大文字、小文字、数字が1つずつ必要)を入力し、使用条件等を読み「GET THE DEMO」をクリックします。

■ Studio Oneデモ版ページへアクセス

※既にMy.PreSonusアカウントを持っている方は「LOG IN」タブを選びログインして進んでください。
※ページが日本語表示にならない場合はページ下部の言語メニューで「日本語」を選んでください。

「Studio Oneデモ版ページへアクセス」の青文字のところにカーソルを合わせ、そのままクリックします



新しいタブ(別のWebページ)が開き、PreSonusの登録ページが表示されました

ヒント!

「ログイン」とは、インターネットやパソコンのサービスを利用する時に、あらかじめ登録しておいた「アカウント情報」を使って、自分専用の情報ページにアクセスすることです。はじめてのときは、このふたつの情報と、いくつかの

個人情報を登録しますが、この手順を「アカウント作成」といいます。一度、アカウントを作成した後、次からの「ログイン」には、ここで登録した「メールアドレス」と「パスワード」のふたつが必要になります。

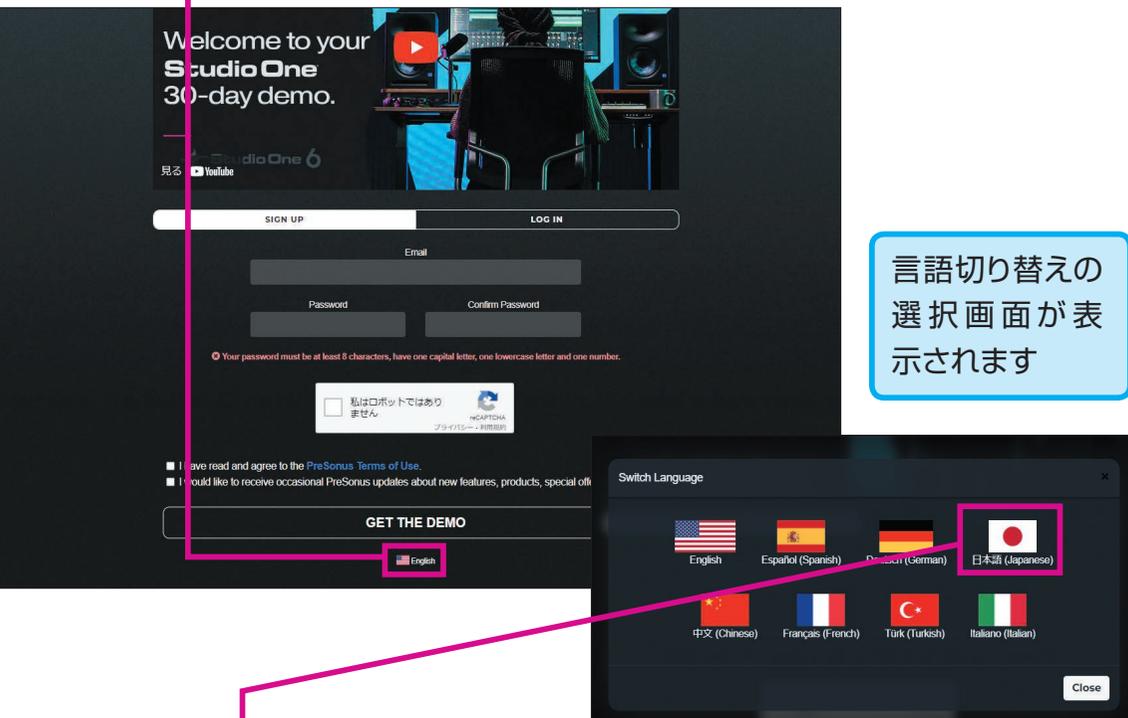
次のページに続く▶▶▶

② ログインページの表示を日本語に変更します

① ページ下までスクロールして「English」をクリックします

※サイトのデザインが変更されました。

言語切り替えの
選択画面が表示されます



② 日本語 (Japanese) にカーソルを合わせて、そのままクリックします

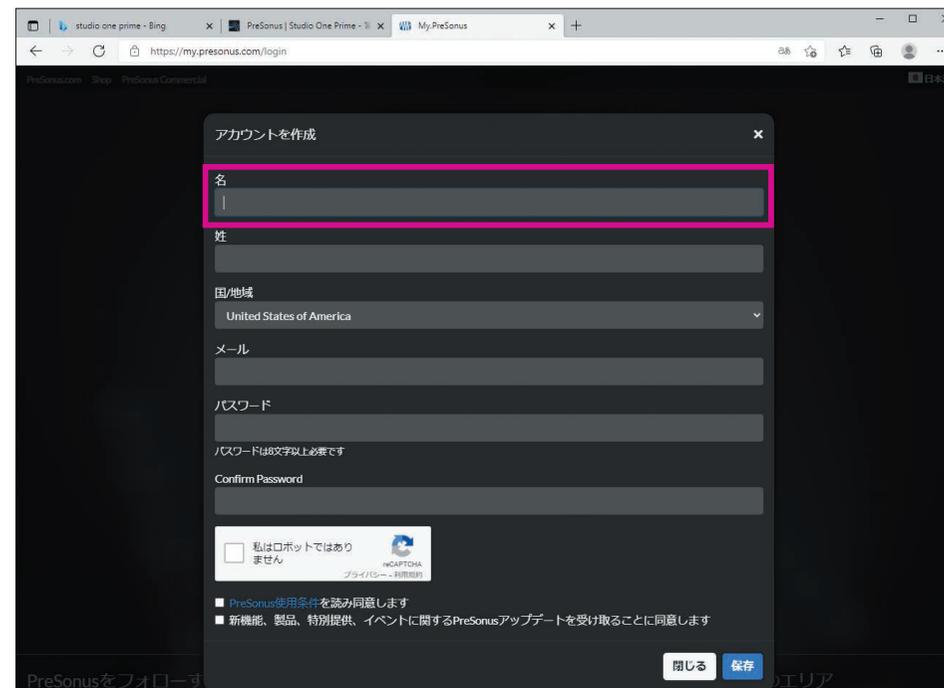
日本語表記のページに変更されました



③ 名前と苗字を入力します

① 名(名前)の入力フォーム(空欄)にカーソルを合わせ、そのままクリックします

入力のカーソル(|)が表示され、文字を入力できる状態になります



② 名(名前)を入力して、必要に応じて変換、確定します

③ 同じように姓(苗字)も入力します

ヒント!

名(名前)を入力して、姓(苗字)の入力フォーム(空欄)へ、入力カーソルを移動するには [Tab] キーを押すことも操作できます。

ヒント!

エラーを回避するため「名」と「姓」はローマ字で入力することをお勧めします。

※③④の手順は不要になりました(⑤へ進む)

次のページに続く▶▶▶

4 「国」を選択します

アカウントを作成

名
Hidetoshi

姓
Takumi

国/地域
United States of America

メール

パスワード

パスワードは8文字以上必要です

Confirm Password

私はロボットではありません

PreSonus使用条件を読み同意します
新機能、製品、特別提供、イベントに関するPreSonusアップデートを受け取ることに同意します

「国」の欄の右端のマークにカーソルを合わせて、そのままクリックします

アカウントを作成

名
Hidetoshi

姓
Takumi

国/地域
United States of America

Taiwan
Tajikistan
Tanzania
Thailand
Timor-Leste
Togo
Tokelau
Tonga
Trinidad and Tobago
Tunisia
Turkey
Turkmenistan
Turks and Caicos Islands
Tuvalu
Uganda
Ukraine
United Arab Emirates
United Kingdom of Great Britain & Northern Ireland
United States Minor Outlying Islands
United States of America

閉じる 保存

国名の一覧リストが表示されます

アカウントを作成

名
Hidetoshi

姓
Takumi

国/地域
United States of America

Hungary
Iceland
India
Indonesia
Iran
Iraq
Ireland
Isle of Man
Israel
Italy
Japan
Jordan
Kazakhstan
Kenya
Kiribati
Kuwait
Kyrgyz Republic
Lao People's Democratic Republic

閉じる 保存

スクロールバーを下にドラッグして「Japan」が表示されたら、文字をクリックして選びます

アカウントを作成

名
Hidetoshi

姓
Takumi

国/地域
Japan

メール

パスワード

パスワードは8文字以上必要です

Confirm Password

私はロボットではありません

PreSonus使用条件を読み同意します
新機能、製品、特別提供、イベントに関するPreSonusアップデートを受け取ることに同意します

「国」が「Japan」に選択されました

※③④の手順は不要になりました（⑤へ進む）。

次のページに続く▶▶▶

5 「メールアドレス」と「パスワード」を入力します

1 メールアドレスの欄に「メールアドレス」を入力します



2 「パスワード」の欄に、自分で決めた「半角英数字で8文字以上(大文字、小文字、数字が1つずつ含まれたもの)」の組み合わせからなるパスワードを入力します

3 「パスワードを認証する」の欄にも、同じものを入力します

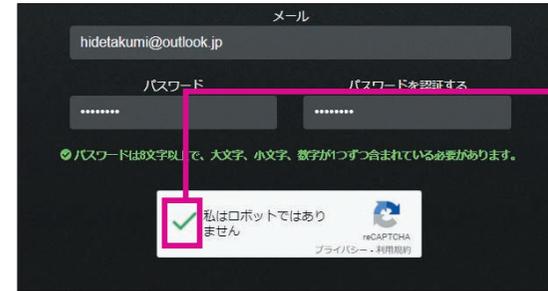
※サイトのデザインと一部のテキストが変更されました。

ヒント! パスワードは入力しても●●●●●●●●のような、伏字の状態になります。



6 入力した情報を送信します

4 『私はロボットではありません』の左横の□をクリックしてチェックマークをつけます



5 下の2つの□をクリックして、チェックマークをつけたら、さらに下の「GET THE DEMO」にカーソルを合わせてクリックします



※6の手順は省略されました。



入力データの送信が行われ、無事に送信された後、デモ版ダウンロードのページに移動します



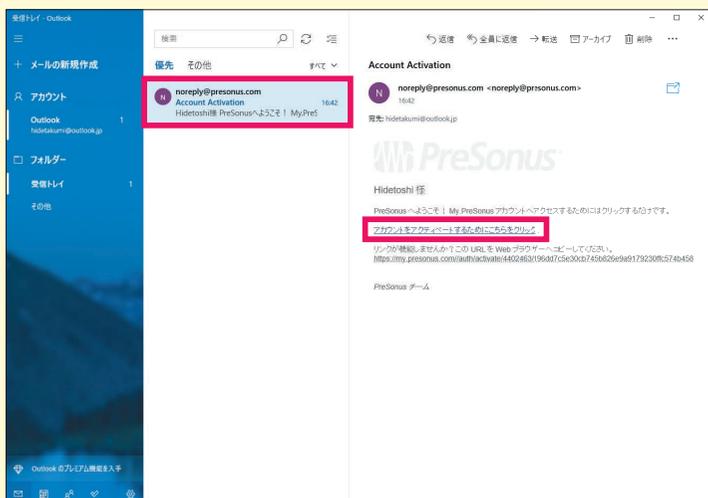
11 会員登録を完了させよう

キーワード メールアプリ、アクティベーション

※会員登録は不要となりました。

アカウント作成の情報を送信すると、登録確認のメールが届きます。一旦、メールアプリ（「Outlook」など）を起動して、PreSonusからメールが届いているか確認しましょう。

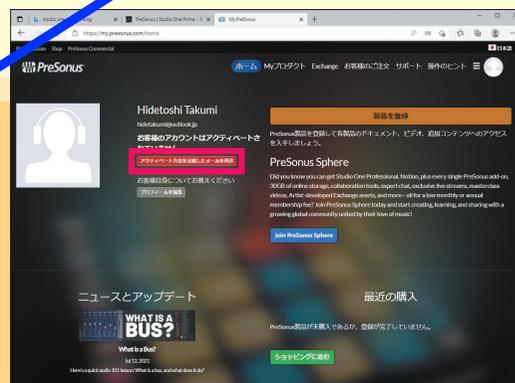
アカウントを[アクティベーション]（認証）します



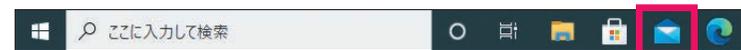
●登録確認のメール
受信トレイに届いている、メール件名「Account Activation」が登録確認のメールです。このメールの本文に記載されたリンク先をクリックして、利用開始の登録を完了させます。

ヒント!

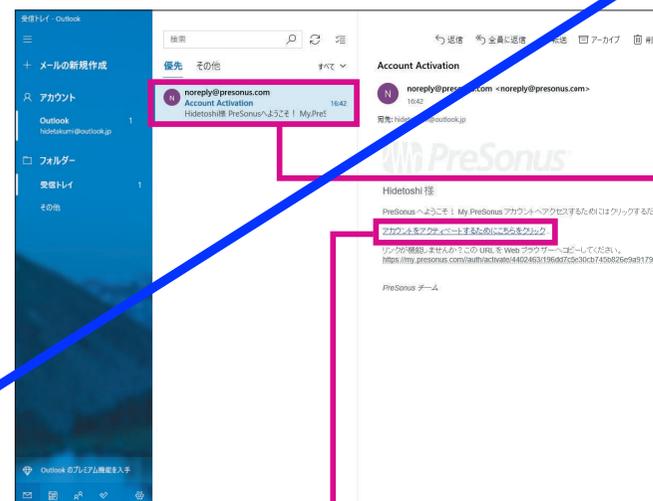
うまくメールが受信できない場合「迷惑メール」として扱われているかもしれません。メールソフトの「迷惑メール」設定を確認してみましょう。それでもうまくいかないときは、時間をあけて、「再送信」を行ってみましょう。



1 メールアプリを起動してメールを確認します



[タスクバー]の[メール]のアイコンにカーソルを合わせて、そのままクリックします



メールアプリが起動しました

1 「PreSonus.com」から届いたメールを開きます

2 メール本文にある「アカウントをアクティベート～」の青文字にカーソルを合わせて、そのままクリックします

2 Webブラウザで認証完了のページを確認します



新しい「タブ」が開き、このようなWebページが表示されれば、アカウントのアクティベート（認証）が成功しています



0円(無料)で制作ソフトを 購入してみよう

※この手順も不要になりました
(~P.53まで)。

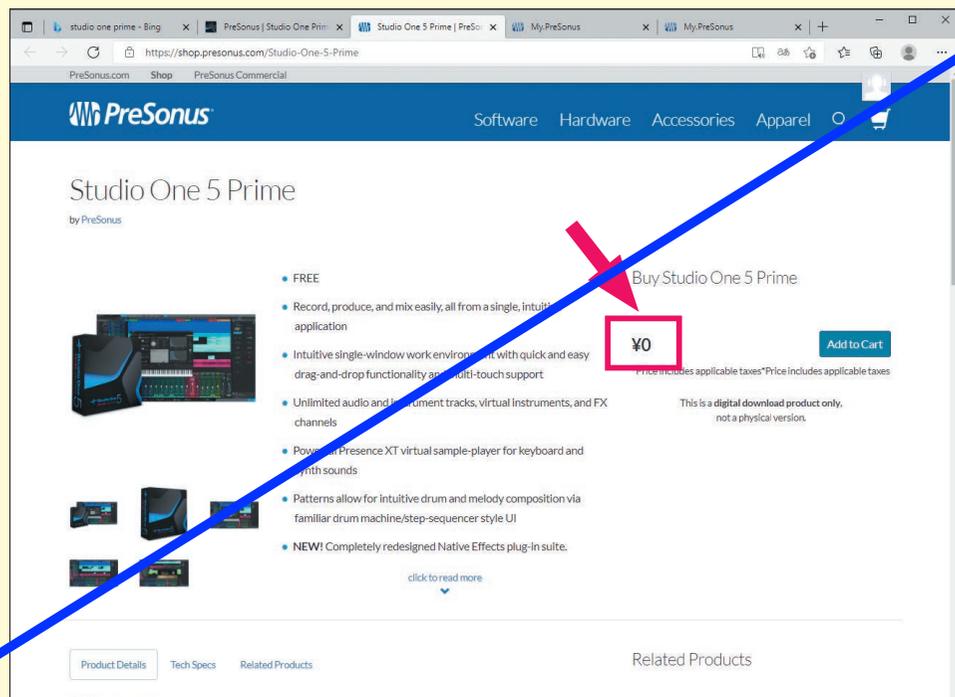
キーワード ネットショッピング、カート

アカウントを作成したら「ショッピング」のページに移動して、ショッピング・カート(買い物カゴ)に「Studio One Prime」を入れます。一般的なネットショッピングと同じような流れになりますが、代金はかかりません。支払料金が「0円」ということを確認して、会計を行いましょ。

「インターネット・ショッピング」の仕組みを使います

●カートに追加

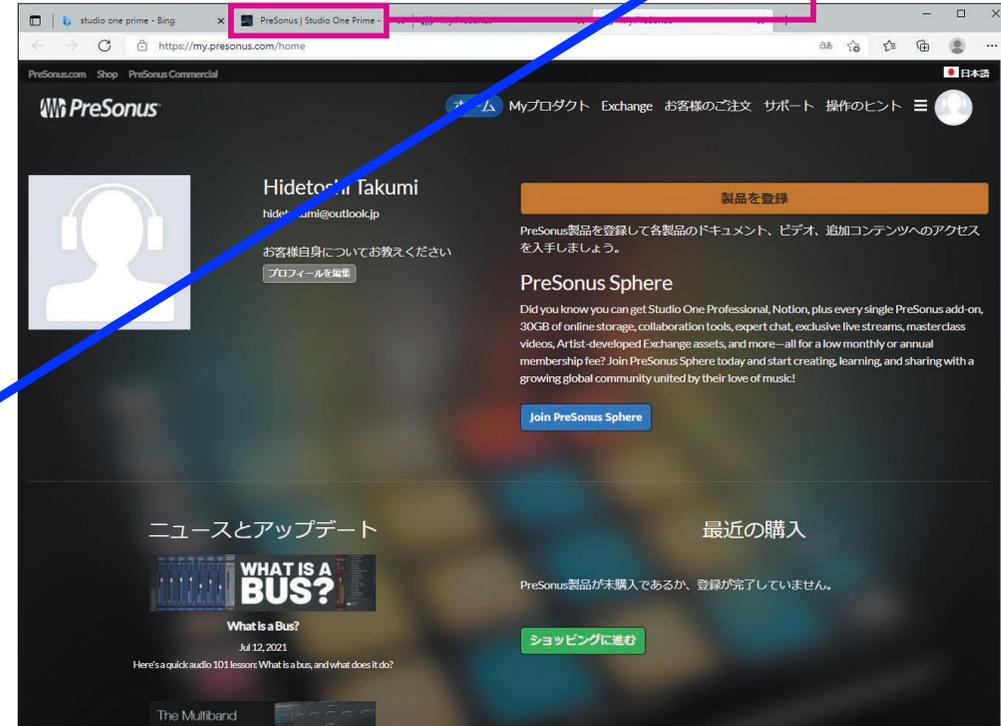
インターネット・ショッピングの要領で、製品をショッピングカート(買い物カゴ)に追加して会計をしますが、カートに入った製品の代金が0円ですので、実質「無料」で購入するという形をとります。



① 「PreSonus Shop」のWebページへ移動します

Webブラウザのタブを切り替えて、始めに表示させた「Studio One Prime」の製品紹介のWebページを表示します

左端のタブにカーソルを合わせて、そのままクリックします



「Primeの入手方法」が表示されたWebページに切り替わりました

次のページに続く ▶▶▶

購入したソフトを パソコンに転送しよう

キーワード インストーラー、ダウンロード

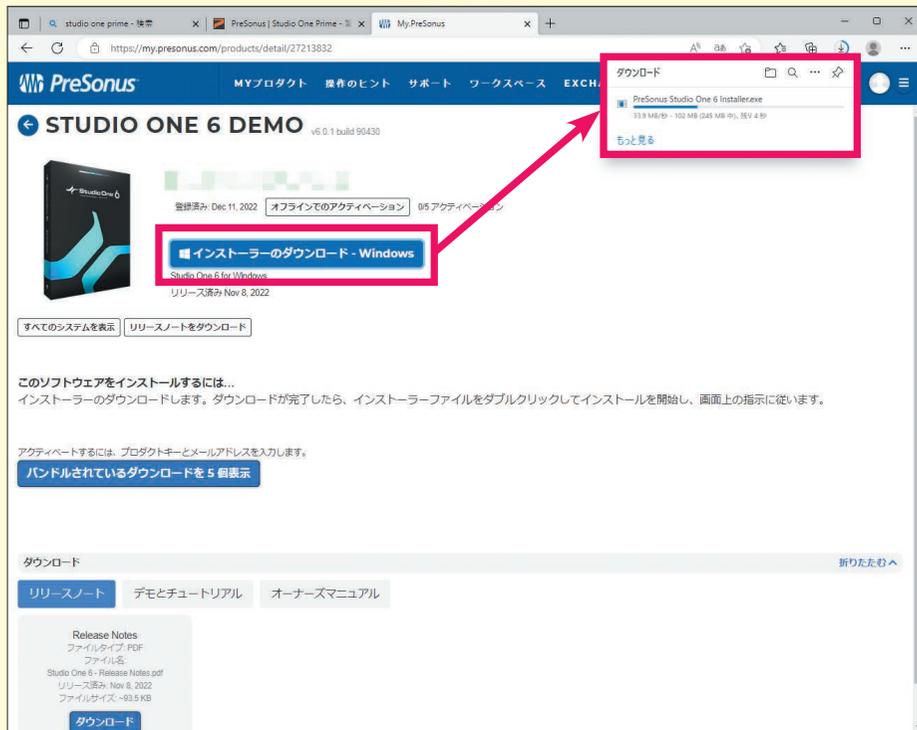
購入済みのソフトは、先に作成した会員のアカウントのWebページに出荷準備されています。そのページにアクセスして「インストーラー」と呼ばれる、ソフトを組み込むためのプログラムを自分のパソコンへダウンロードします。

「インストーラー」をパソコンに「ダウンロード」します

● インストーラー

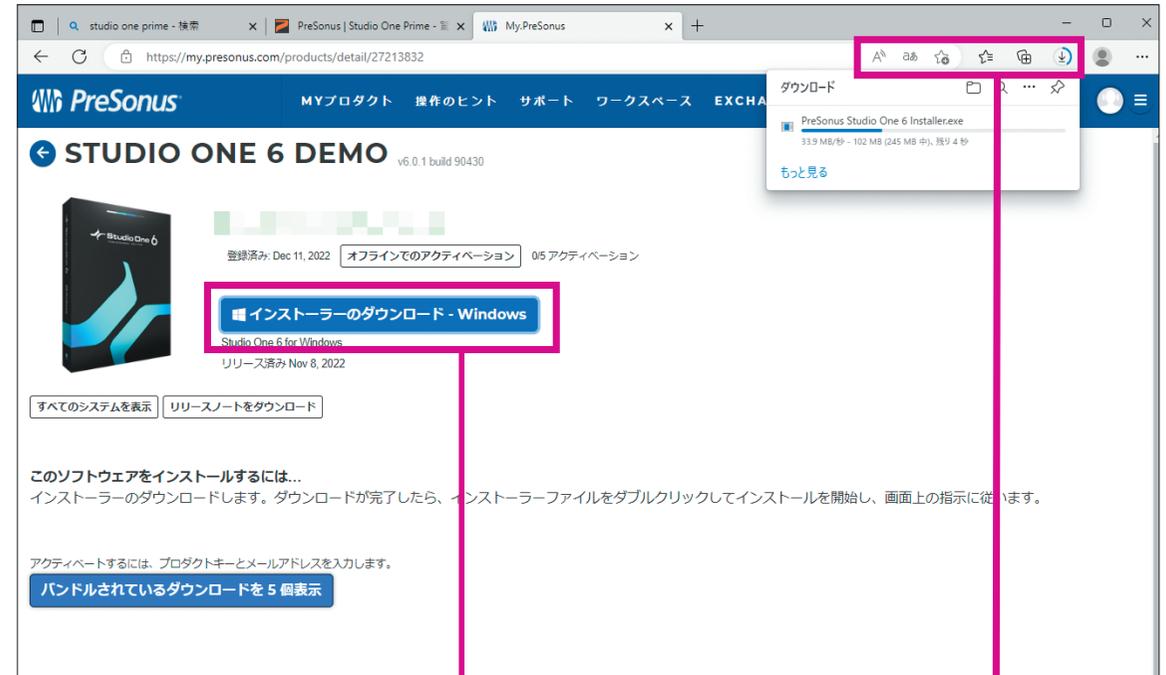
無料で購入したソフトは、はじめに作成したアカウントのページ（登録会員のページ）に、一旦出荷準備されています。そのページに移動して、準備されている

「インストーラー」（アプリケーションソフトをパソコンに組み込むための補助ソフト）を自分のパソコンに「ダウンロード」します。

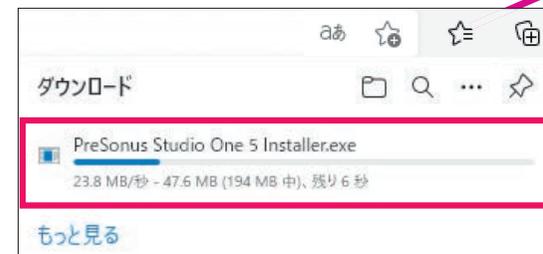


※サイトのデザインが変更されました。

① インストーラーをダウンロードする



① 「インストーラーのダウンロード - Windows」にカーソルを合わせて、そのままクリックします



インストーラーのダウンロード（インターネットを通じたパソコンへのデータ転送）が始まり、さらに待つと、ダウンロードが完了します

ソフトをパソコンに組み込んでみよう

キーワード インストール、セットアップウィザード、ショートカット

インストールの事前準備が整ったところで、いよいよ「インストーラー」を実行します。実行すると「セットアップウィザード」によって手順が示されますので、それに従っていきことで、インストール作業が進んでいきます。

「インストーラー」を実行します

● セットアップウィザードに応える

「インストーラー」(アプリケーションソフトをパソコンに組み込むための補助ソフト)を実行すると「セットアップウィザード」プログラムが起動し、手順を追っ

てパソコンへソフトを組み込む作業が開始されます。その手順ごとに確認の画面とボタンが表示されますので、ひとつずつ応えていきます。



※インストーラーのデザインが変更されました。

① 「インストーラー」で使用される言語を選びます



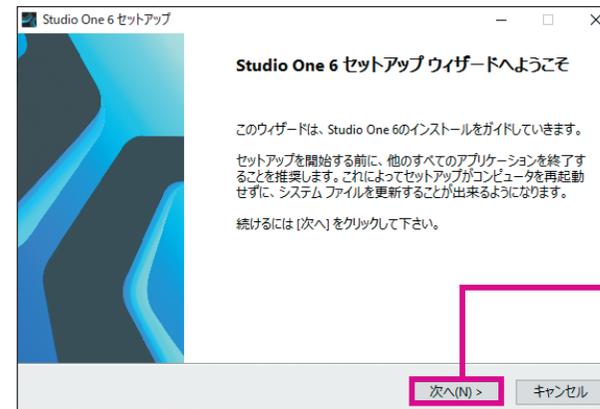
① 「日本語」が選ばれていることを確認します

② 「OK」をクリックします



「Studio One 5 セットアップウィザードへようこそ」と表示されます

② 「セットアップウィザード」を進めます



「セットアップウィザード」を使って、登録作業を対話形式ですすめていきます

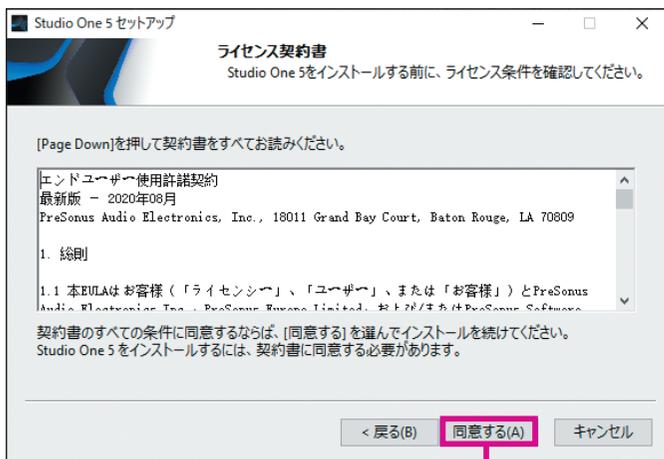
ソフトの組み込み作業を続けたいので「次へ(N)」をクリックします

ヒント

キーボードの (N) をタイピングすると早く進めます。このようなキーボードの操作を「ショートカット」といいます。

次のページに続く

3 契約書に同意します



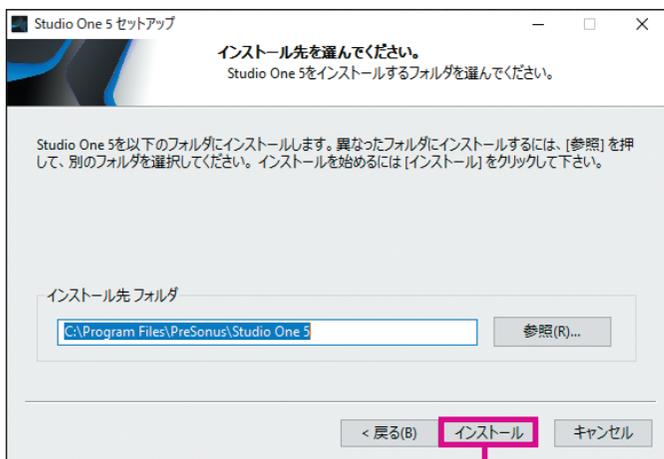
インストール前にライセンス (ソフトの許可・認可) 条件の確認契約書が表示されます

「同意する(A)」をクリックします

ヒント!

「同意する」は、キーボードの (A) でも操作できます

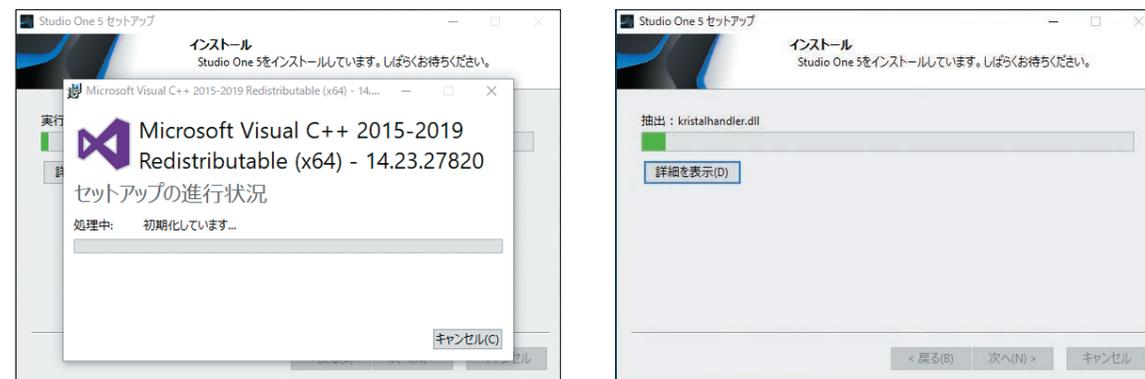
4 インストール先を選びます



インストール先を選ぶ画面が表示され、保存先フォルダを変更することもできますが、通常はそのまま変更しなくて構いません

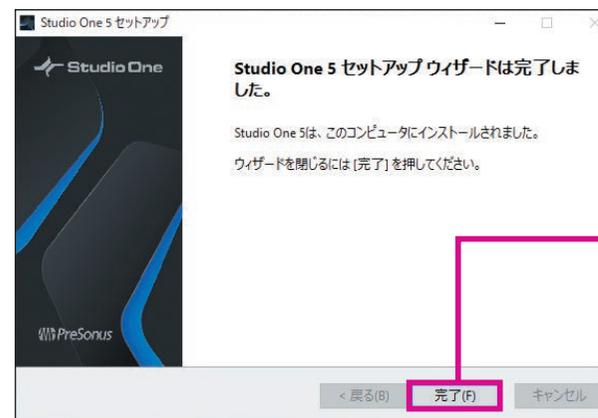
「インストール」をクリックします

5 インストール作業を待ちます



インストール作業がスタートして、作業の進み具合を表す「プログレスバー」が右に伸びていきますので、少しの間待ちます

6 「セットアップウィザード」を完了させます



インストールの作業が最後まで進み「完了しました」と表示されます

「完了(F)」をクリックします

「セットアップウィザード」による「インストーラー」のプログラムが終了されたので、デスクトップに「Studio One 6」のアイコンがあることを確認しておきます

※アイコンが「Studio One 6」になりました。



🏁 終わり

はじめてソフトを 起動してみよう

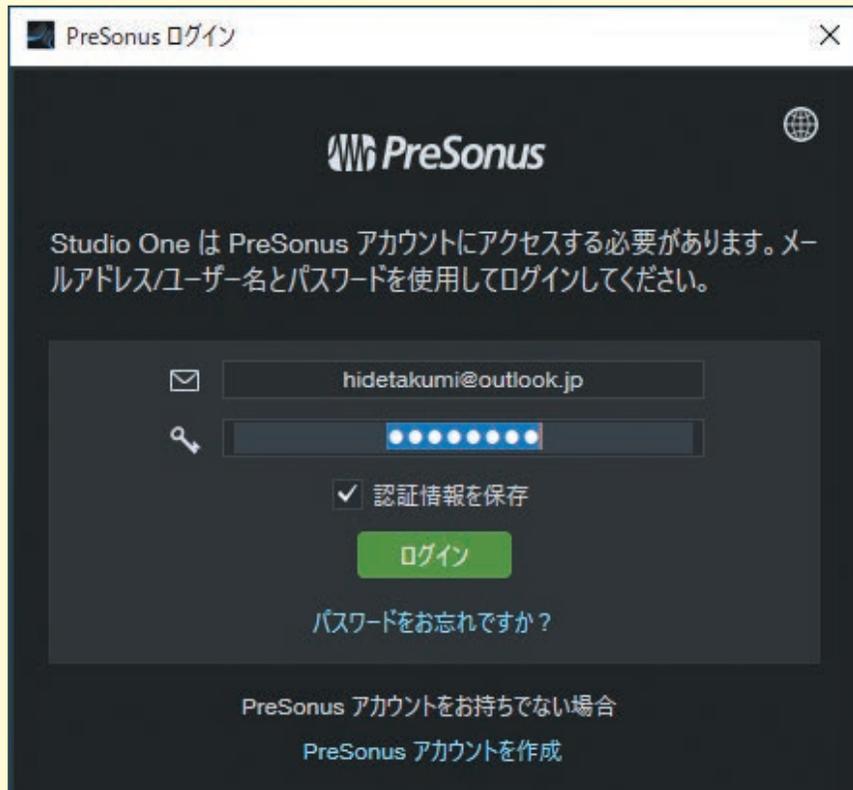
キーワード 初回の起動、使用許諾、ログイン

音楽制作ソフトである「Studio One Prime」をパソコンに組み込んだので、の起動時に限っては「アクティベーション」という認証の手続きが必要となります。初回す。

初回の起動時はアクティベーション（認証登録）が必要です

● ログインして認証登録

アカウント作成の時に登録した「メールアドレス」と「パスワード」を入力して、ログイン（登録情報にアクセス）します。



※起動後「Studio Oneはこのコンピューターで実行できるようアクティベートされました」と表示

66 できる され、自動でアクティベーション処理された場合は、以下の手順は不要です（レッスン17へ）。

1 ソフトを起動します

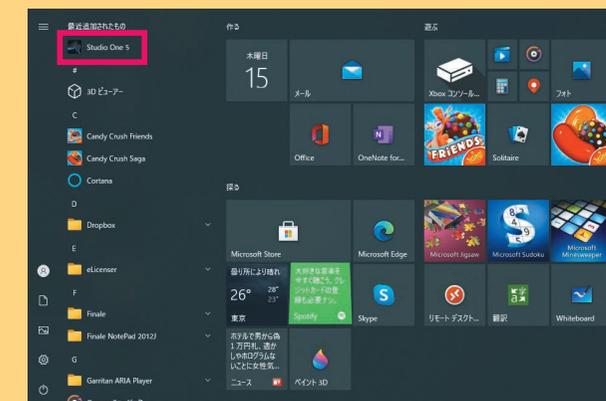


デスクトップに作成された「Studio One 6」のアイコンに、カーソルを合わせて、そのままダブルクリックします



使用許諾契約の同意画面が開きました

ヒント



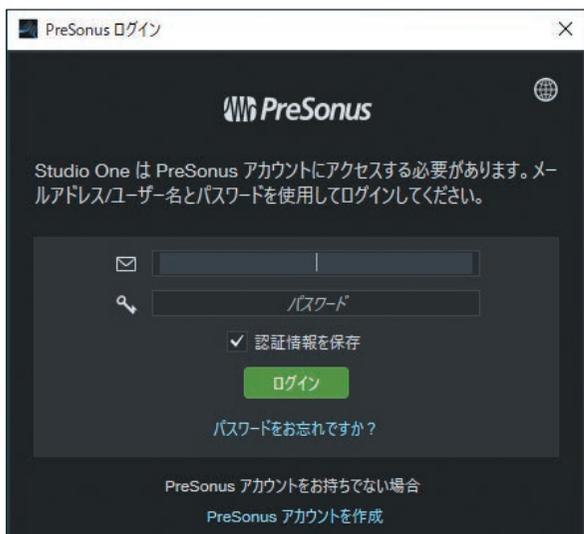
[スタート]メニュー→[最近追加したもののから][Studio One 5]を選んでも起動できます。

次のページに続く ▶▶▶

2 使用許諾に同意します

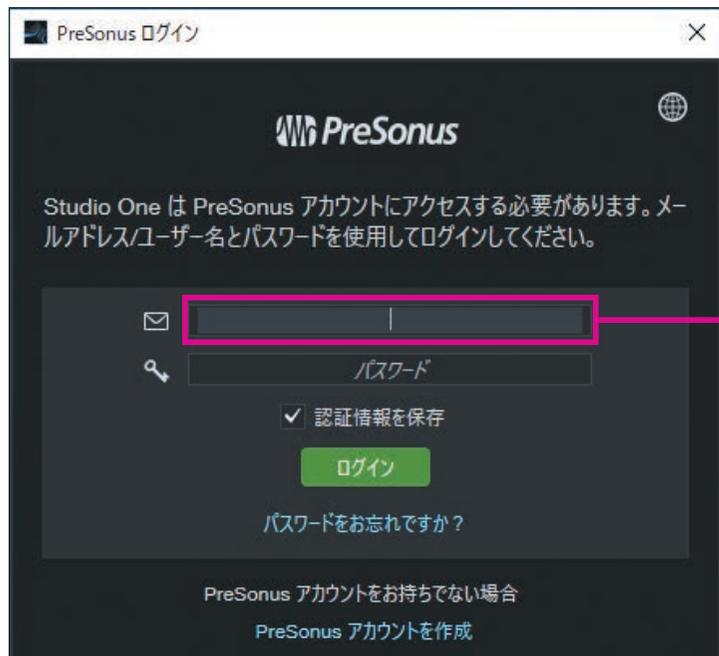


「同意する」にカーソルを合わせてクリックします



「ログイン」画面が表示されました

3 ログインするために「メールアドレス」を入力します



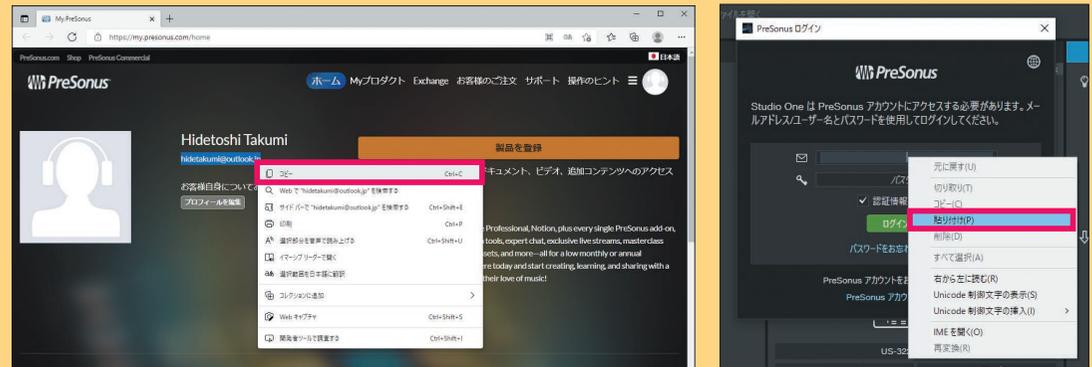
①メールアドレスの欄に入力のカーソル(|)が表示されていることを確認します

②アカウント作成に使用したメールアドレスを入力します

ヒント

メールアドレスが長く、入力に手間がかかるときには、My.PreSonusのウェブページを開き、必要なアドレスの文字を

選択して「コピー」し、そのまま次に「Studio One」ログイン画面に戻って「貼り付け」することもできます



次のページに続く ▶▶▶

4 「パスワード」を入力します

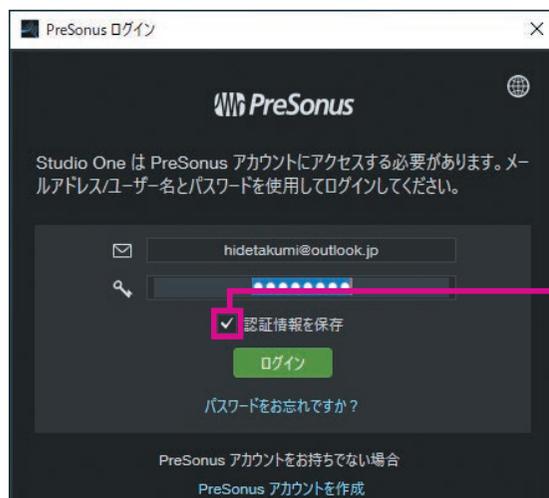


① [Tab] キーを押して、入力カーソル (|) をパスワードの欄に移動させます

② アカウント作成に使用したパスワードをタイピングします

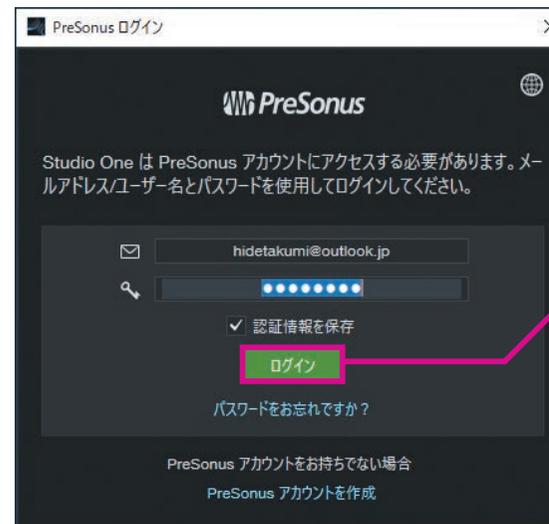
●の伏字になりますが、パスワードが入力されました

5 認証情報を保存します



「認証情報を保存」の左にある□にチェックが入っていることを確認します

6 ログインします



① [ログイン] にカーソルを合わせて、そのままクリックします

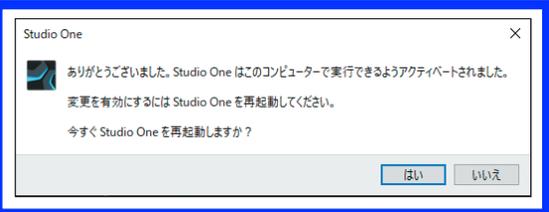
「製品をアクティベートしています」のウィンドウに、進捗状況を示すバーが表示されます



どのバージョンでアクティベートするか選ぶダイアログが表示されます



② 「Run Studio One Prime」を選択して、「Studio One Primeをアクティベート」にカーソルを合わせ、そのままクリックします



③ すべての処理が終わると、アクティベート（認証）完了のメッセージと再起動が求められるので「はい」をクリックします

※ダイアログ内のテキストが変更されました。



起動直後の設定をしよう

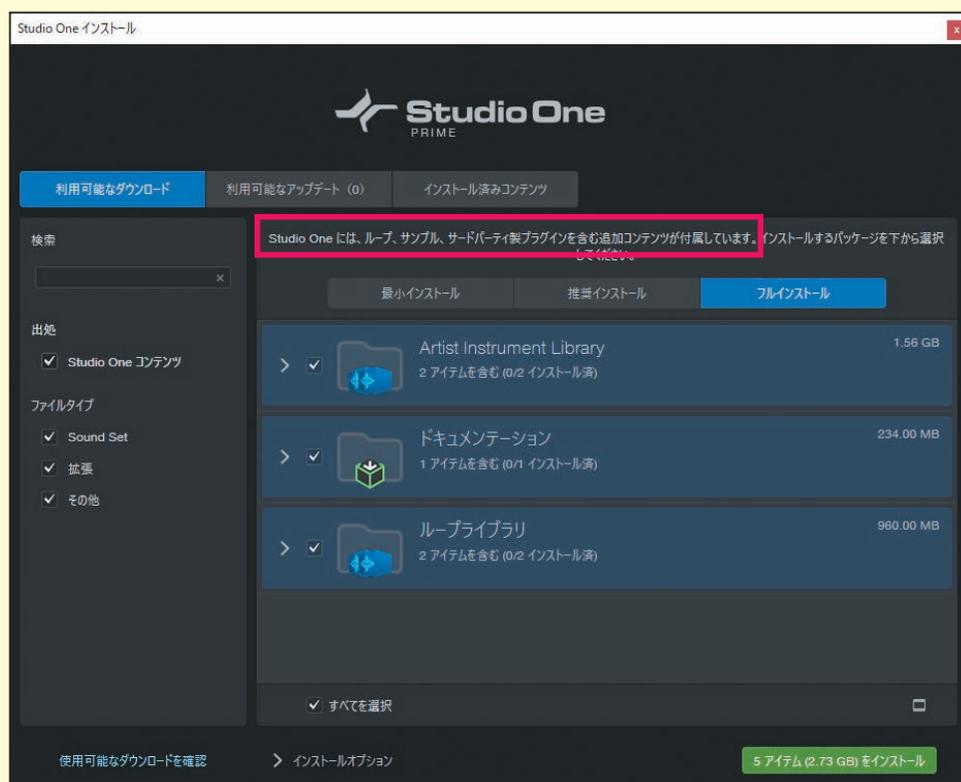
キーワード 🔑 **ファイアウォール、追加コンテンツ、スタートページ**

「Studio One Prime」のアクティベーションのコンテンツを、別途追加でダウンロードが完了したら、次はソフトに付属のコンテンツを、別途追加でダウンロードする必要があります。

追加コンテンツをダウンロードします

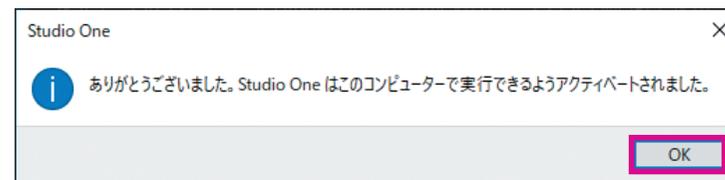
●大容量データのダウンロード

ソフト本体のインストールは完了していますが、付属扱いのパソコンの内部音源の音色データや、さまざまな楽器フレーズの演奏データなどは別途、インターネットからのダウンロードが必要です。データの容量（サイズ）が非常に大きいので、ダウンロードにやや時間がかかる場合があります。

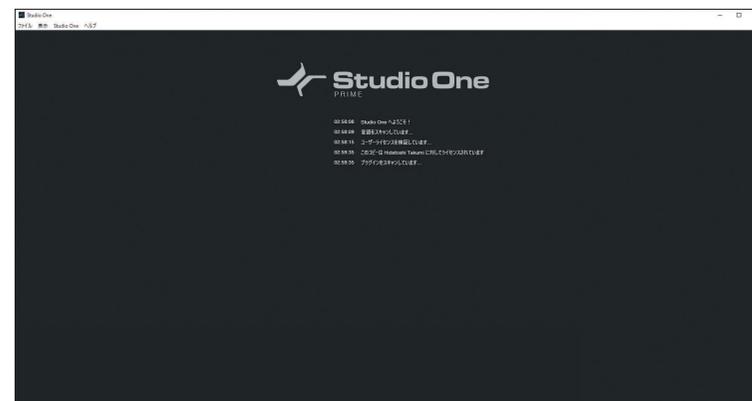


※ウィンドウ内のデザインが変更されました。

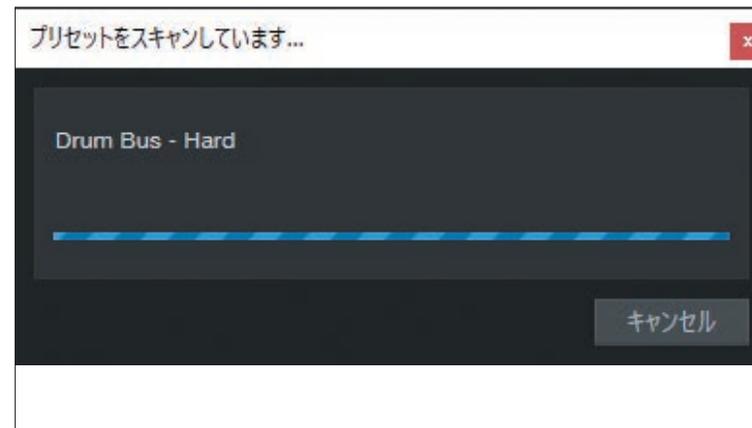
1 アクティベーションの確認をします



[OK] にカーソルを合わせて、そのままクリックします



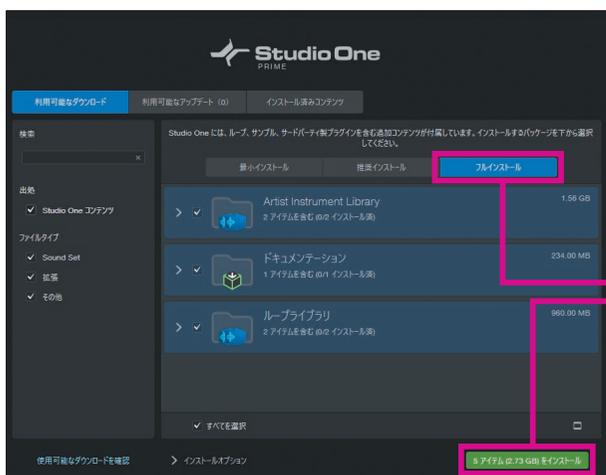
1 ソフトが起動して、スタート画面中央に起動の状況が表示されていきますので、しばらく待ちます



2 「プリセットをスキャンしています...」というダイアログができますので、待ちます

次のページに続く ▶▶▶

2 追加の素材データをインストールします



音を鳴らすために必要な追加の付属の素材 (コンテンツ) をインストールするように勧められます

3つのタブの右端「フルインストール」を選択し右下の [5 アイテムをインストール] をクリックします

※ウィンドウ内のデザインと一部のテキストが変更されました。

3 追加分のインストールに時間がかかるので待ちます

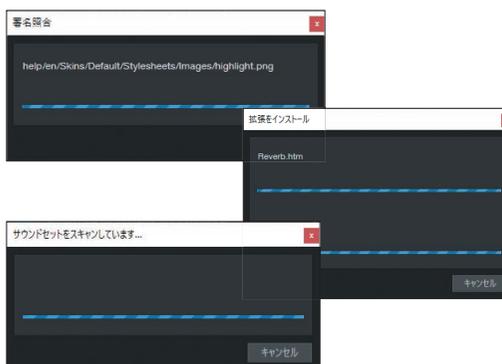


ヒント!

追加の素材は合計で2.73GB (ギガバイト) と大容量なので、ダウンロードに数十分~数時間かかることもあります。通信環境や通信状態によりますので、気長に待ちましょう。

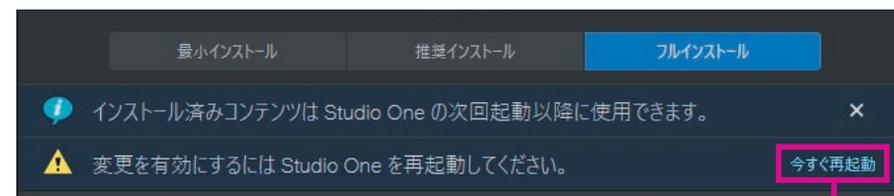
1 インストール (転送) の詳細リストが表示され、ダウンロードが開始されます

2 ダウンロードが終わると、そのまま「署名照合」や「拡張をインストール」、「サウンドセットをスキャンしています…」など、進捗状況を示すバーが順次表示されるので、終わるまで待ちます

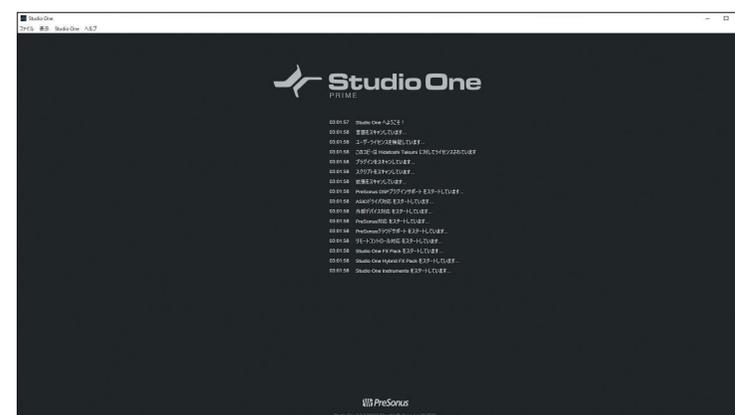


4 「Studio One」を起動します

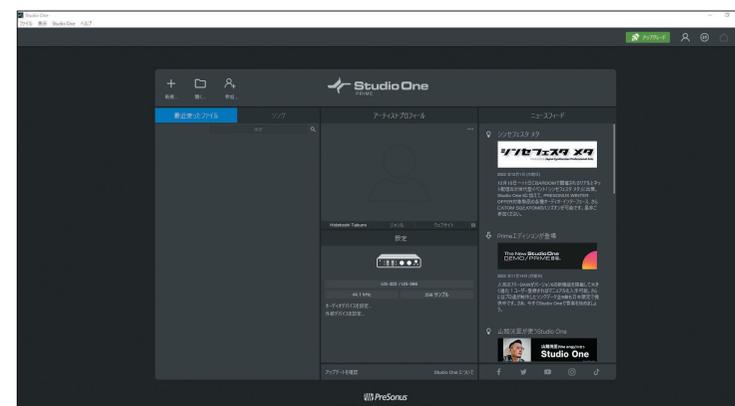
ダウンロードが終わり再起動するように勧められます



[今すぐ再起動] をクリックします



「Studio One Prime」が自動的に終了して、間をおいて再起動されます



「Studio One Prime」が再起動して、スタートページが表示されます

🏁 終わり

制作する曲のファイルを準備しよう

キーワード スタートページ、新規ソング

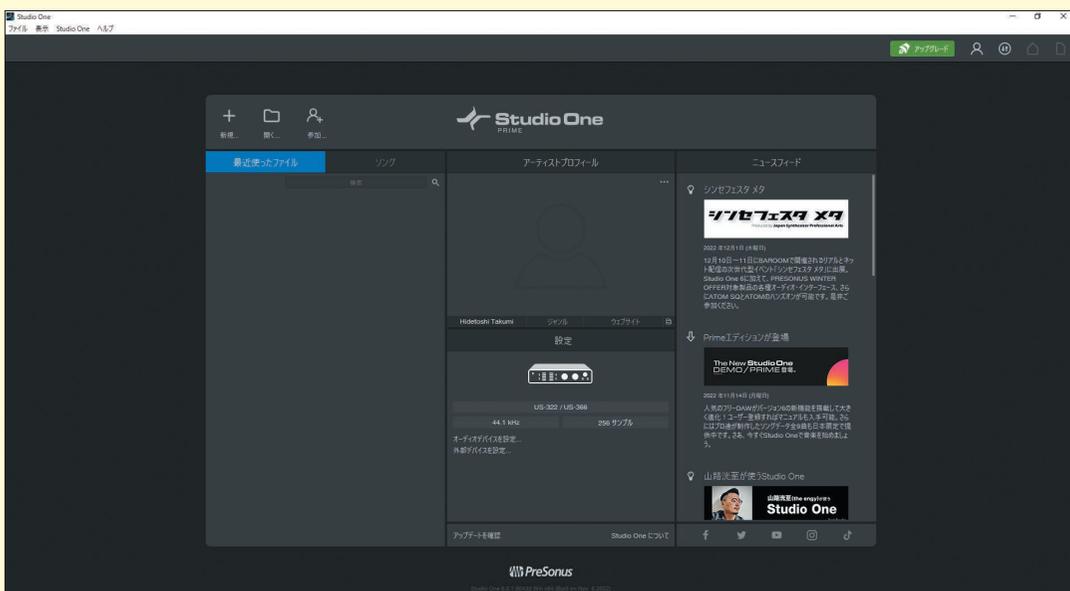
「Studio One Prime」のスタートページは、まさにソフトの入り口にあたる画面です。まずはこのスタートページから、どのような作業を行いたいかを選んでいくことになります。スタートページの使い方を知っておきましょう。

スタートページから設定や書類を開きます

●スタートページの用途

「スタートページ」から、新しく曲を作る、作業した曲のファイルを開くなどの作業を選ぶことができます。他にも、

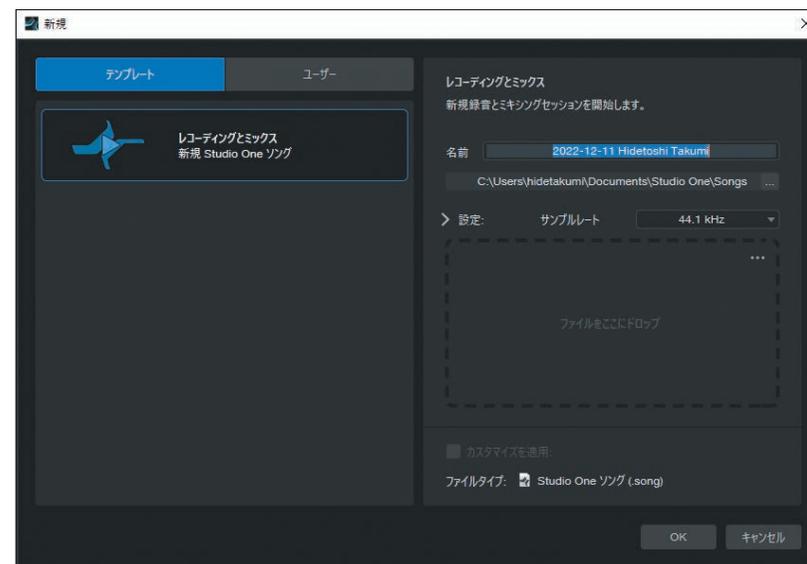
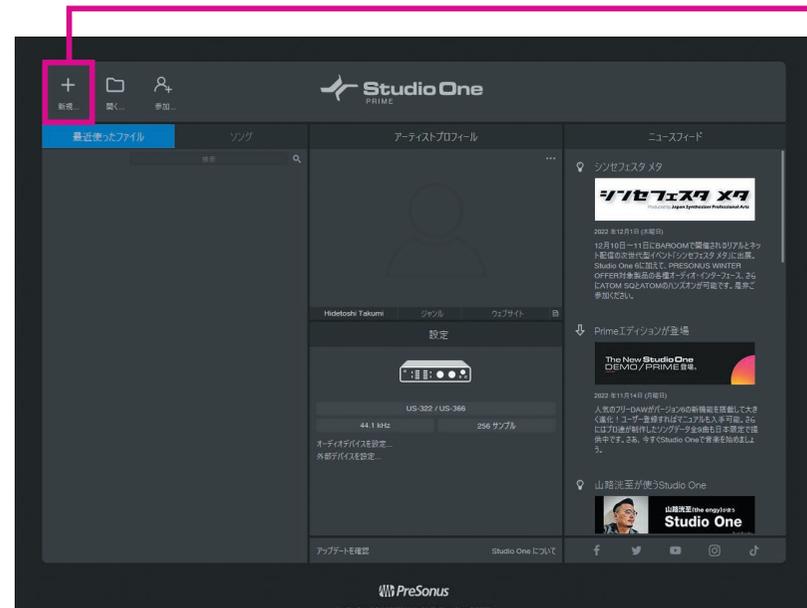
Studio Oneの基本設定画面を開く、あるいは、Studio Oneに関するニュースや情報などを読むこともできます。



※ウィンドウ内のデザインと一部のテキストが変更されました。

1 新規ソングを作成します

[新規]にカーソルを合わせて、クリックします



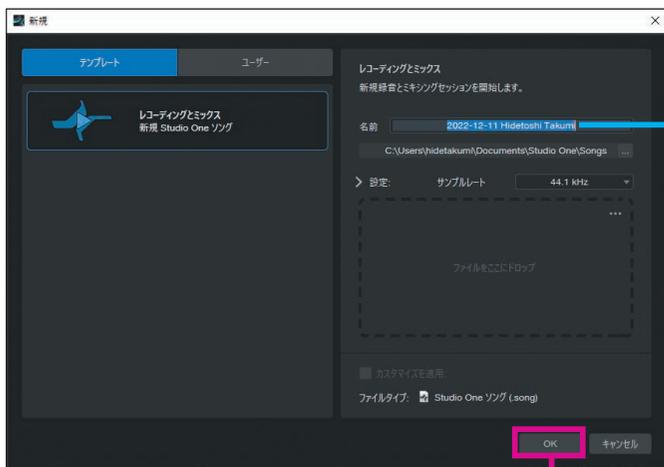
[新規]の設定画面が表示されます

※「オーディオファイルをソングテンポにストレッチ」のチェックマークの確認は不要になりました。

次のページに続く▶▶▶

2 曲のタイトルや基本情報などを設定します

「レコーディングとミックス」のテンプレートが選ばれています

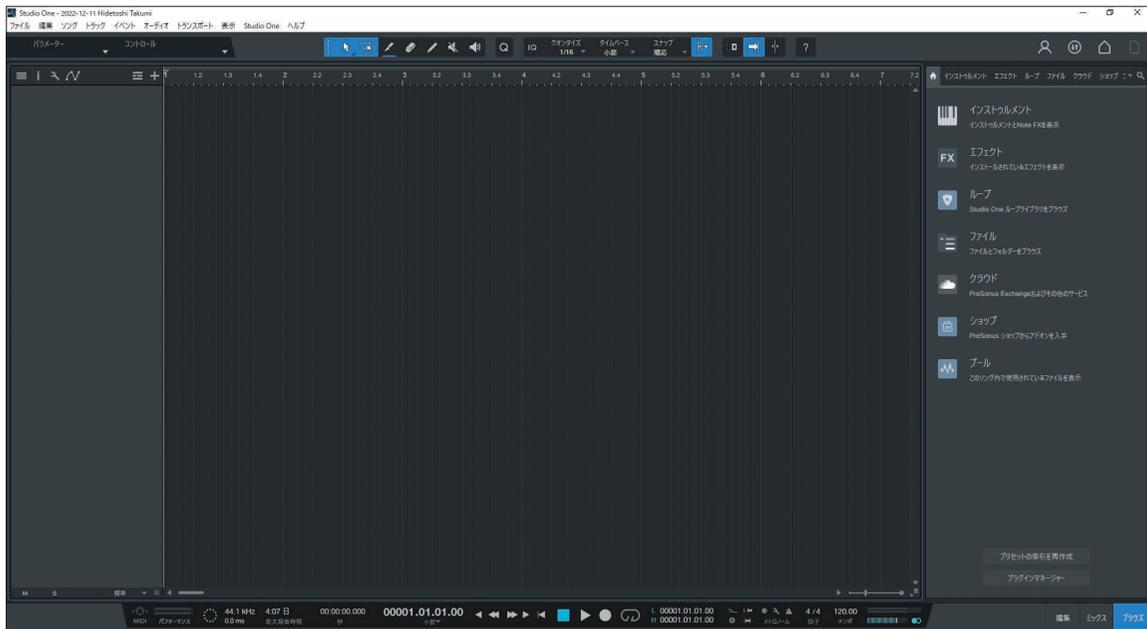


1 名前(曲のタイトル)には、日付とアカウントで作成した名前が表示されています

2 ひとまず音を鳴らすテストとしてファイル作成を進めたいので、その他の項目については、そのままにしておきます

[OK] をクリックします

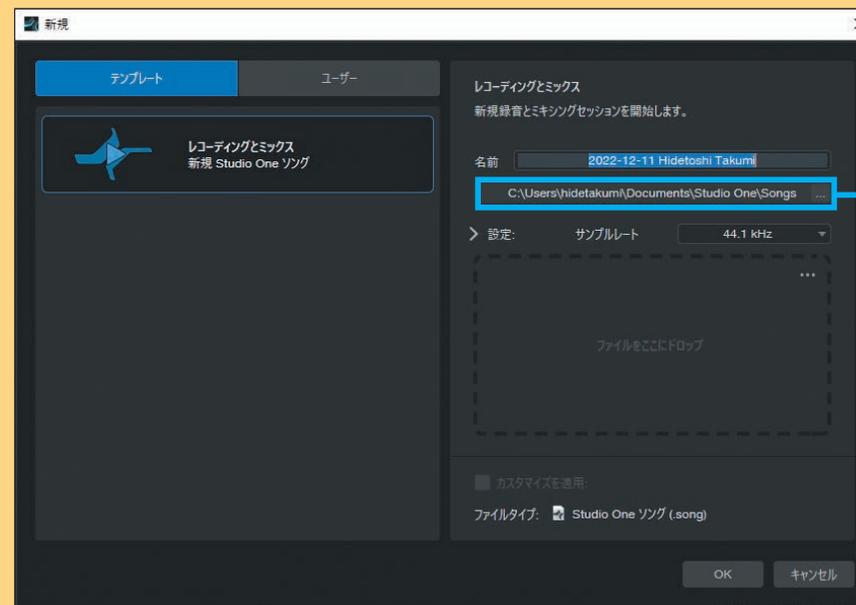
※ウィンドウ内のデザインと一部のテキストが変更されました。



作業の中心となる「アレンジビュー」が開きます

ヒント!

作成した曲を保存したときに、ファイルの保存場所がわからずに見つけれなくなることがあります。そんな場合には、2通りの見つけ方があります。



◆スタートページの「最近使ったファイル」から呼び出すことができます

◆新規ソングの画面で、保存場所の確認や、別の場所への変更をすることもできます

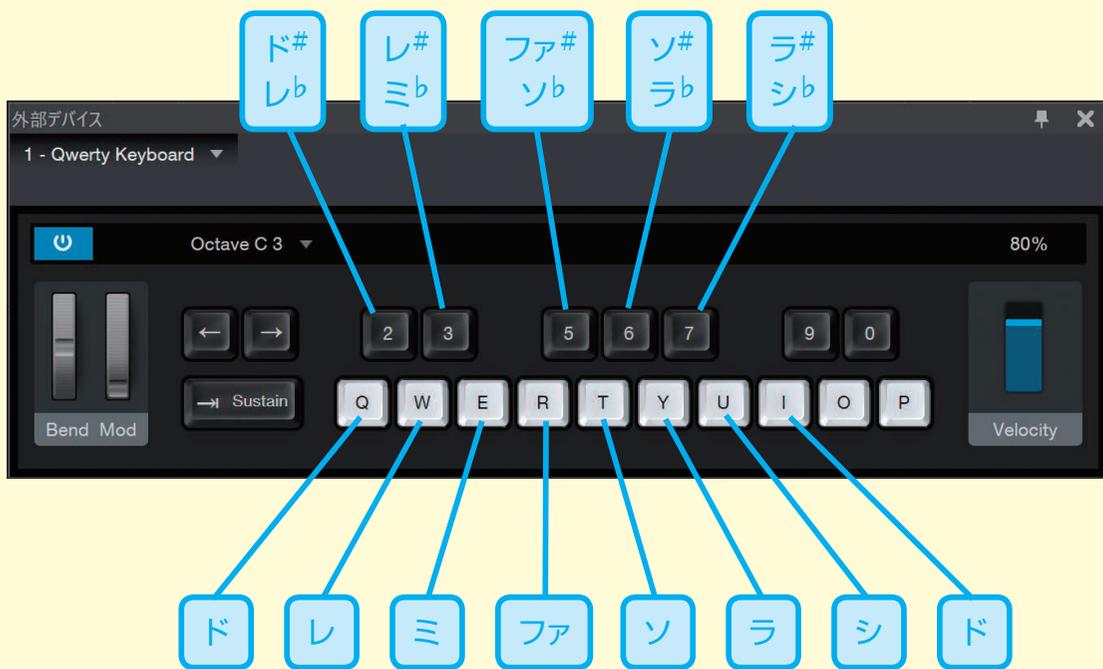
パソコンのキーボードを 鍵盤にしてみよう

キーワード 仮想キーボード (鍵盤)、Qwertyキーボード

ドラムセットの次は、ベースギターを入力していきます。入力するときに音の高さを指定する必要があります。パソコンに

繋げられるタイプの鍵盤楽器「MIDI (ミディ) キーボード」があると便利ですが、パソコンのキーボードで代用できます。

パソコンのキーボードを鍵盤代わりに使います



●仮想キーボード

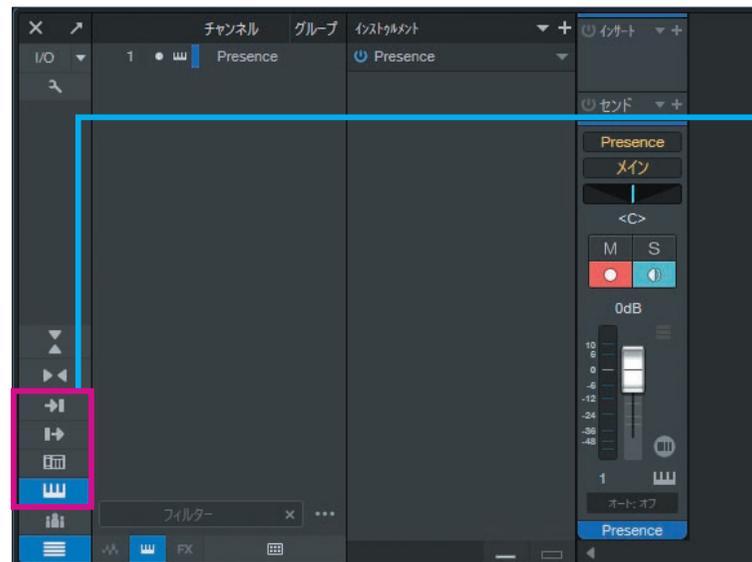
パソコンの外部に入力用の鍵盤 (MIDI キーボード) を繋ぐこともできますが、ここではパソコンのキーボードを仮想

キーボードにします。いわゆる「ヴァーチャルMIDIキーボード」と呼ばれるものです。

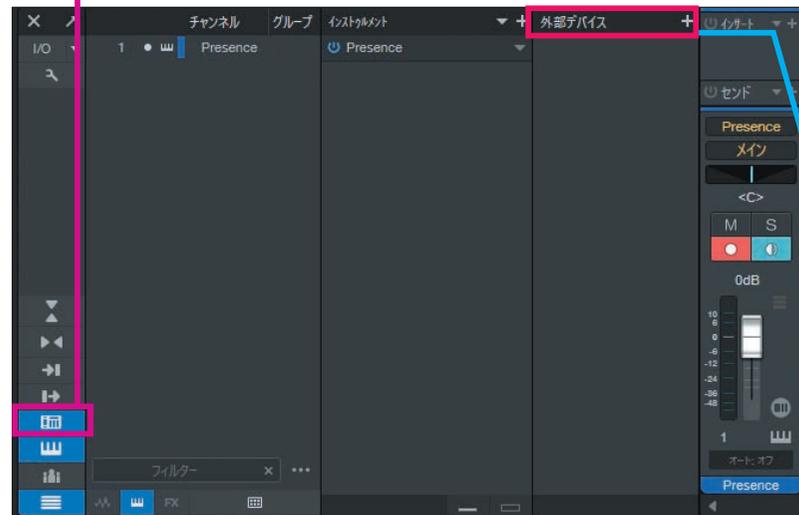
1 「ミックス」画面を表示させます



右下の「ミックス」をクリックします



画面左下に「入力」「出力」「外部」「インスト」の出力を示すアイコン表示が現れます



「外部デバイスを表示」のアイコンにカーソルを合わせて、そのままクリックします

「外部デバイス」という欄が、追加表示されました

※矢印で示した部分がテキストからアイコンに変更されました。

次のページに続く ▶▶▶

ギターの演奏素材を配置してみよう

※サイトのデザインと検索用のテキストが変更されました。

キーワード MIDI、オーディオ、録音

ここまで入力してきた曲に「エレキギター」のパートを追加してみます。これまでのように、パソコンの内蔵シンセサイザーの「ギター」の音色で再現することも可能ですが、特に「ギター」のような演奏に多彩なニュアンスが含まれる楽器は、実際の演奏を録音すると、よりバンドらしいサウンドになります。ここでは、あらかじめ用意された録音データを使ってみましょう。

音のデータには「MIDI (ミディ)」と「オーディオ」があります



●録音にはオーディオインターフェイスが必要です

●MIDIとオーディオの違い

- ・これまで入力してきたように、実際の録音ではなくて、内蔵ソフトウェアシンセサイザーを鳴らすための「演奏情報」を記録したもの→「MIDI (ミディ)」
 - ・誰かが演奏した演奏そのものを録音したもの→「オーディオ」
- どちらにも長所と短所があります、パソコン上ではどちらのデータも同時に取り扱うことができるので、良いところを組み合わせ曲を構成します。

1 オーディオファイルをダウンロードします



Webブラウザで「リットーミュージック」と検索し、この本の出版元であるリットーミュージックのサイトにアクセスします

「キーワードを入力」の空欄に「三訂版」と入力し、虫眼鏡のアイコンをクリックします

検索結果として表示された「できるゼロから始めるパソコン音楽制作超入門 三訂版」の表紙をクリックすると本の紹介ページが開くので、下にスクロールします

「オーディオファイルのダウンロード」という項目の下にある「Dekiru_Ongaku (ZIP) 24.9MB」というリンクを右クリックし、メニューから「保存」を選択します

「ギター」と「歌」(ボーカル、ハーモニー、コーラス)のオーディオデータと楽譜を含む、「Dekiru_Ongaku.zip」がパソコンにダウンロード(転送)されました

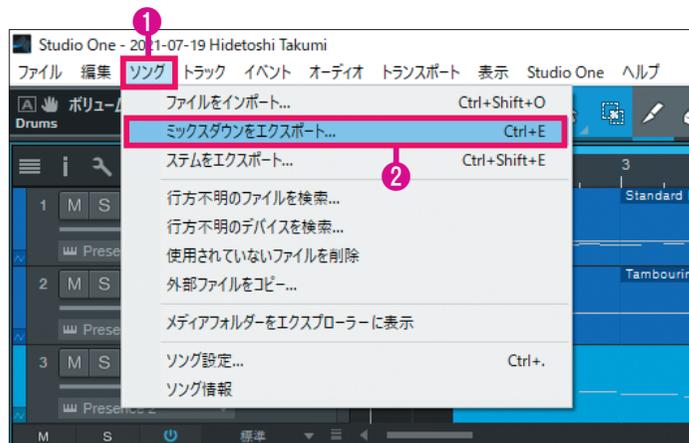
ヒント!

ダウンロードしたデータは「ZIP」という形式になっています。ダウンロードしたZIPファイルを右クリックし、開いたメニューから「すべて展開(T)...」を選びます。ファイルの展開先を訪ねられるので、ここでは「デスクトップ」になっていることを確認して「展開(E)」します。



次のページに続く▶▶▶

2 選んだ範囲で、オーディオデータを書き出します



- 1 「ソング」メニューをクリックします
- 2 メニューが開くので「ミックスダウンをエクスポート…」をクリックします

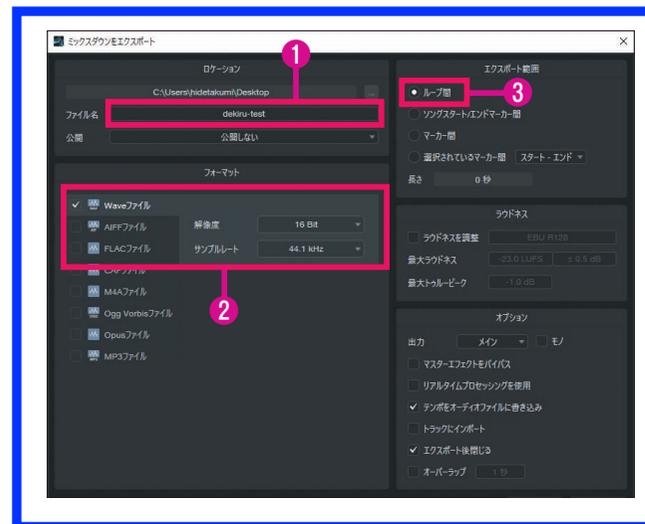
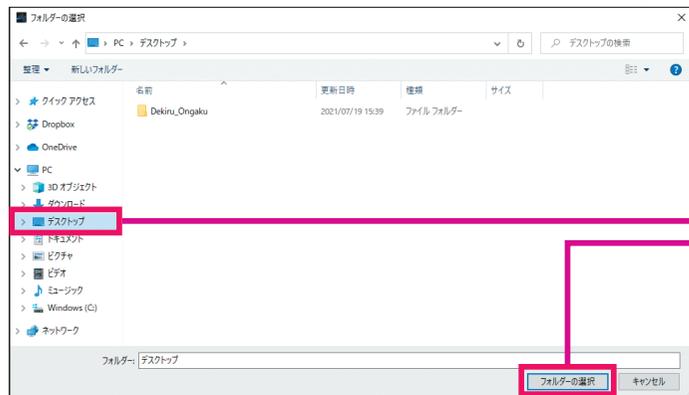
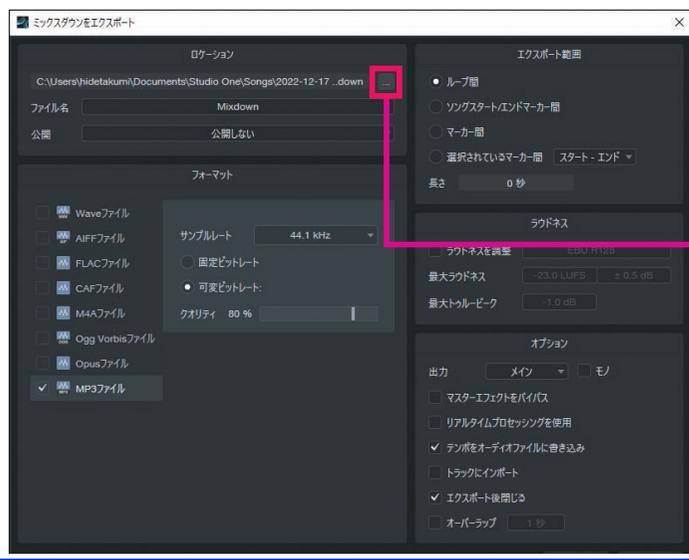
「ミックスダウンをエクスポート」の設定が表示されます

「ロケーション」の右端の「…」にカーソルを合わせて、そのままクリックします

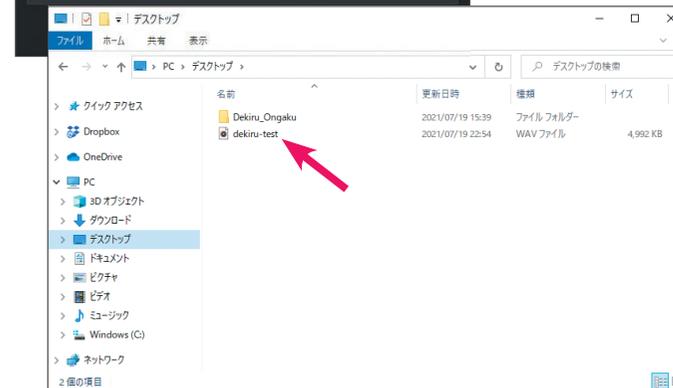
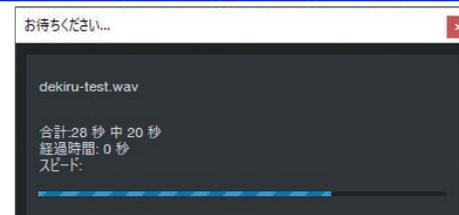
※ダイアログ内のデザインが一部変更されました。

書き出しファイルの保存先を指定する画面が表示されますので、ここでは「デスクトップ」を指定して「フォルダーの選択」をクリックします

「ロケーション」が「デスクトップ」に指定されたことを確認します



- 1 書き出しのファイル名を変更します「ファイル名」にカーソルを合わせてクリック、文字が入力できる状態になるので、ここでは「dekiru-test」とキーボードで文字を打ちます
- 2 下の「フォーマット」が「Waveファイル」「解像度：16bit」「サンプルレート：44.1kHz」になっていることを確認します
- 3 エクスポート範囲が「ループ間」になっていることを確認して、一番下の「OK」をクリックします



書き出しの進み具合を表す「プログレスバー」が右に伸びていき、作業が終わると「デスクトップ」に書き出された「オーディオファイル」が表示されます



書き出された「dekiru-test」を再生するには、一度「Studio One Prime」を終了しておきます

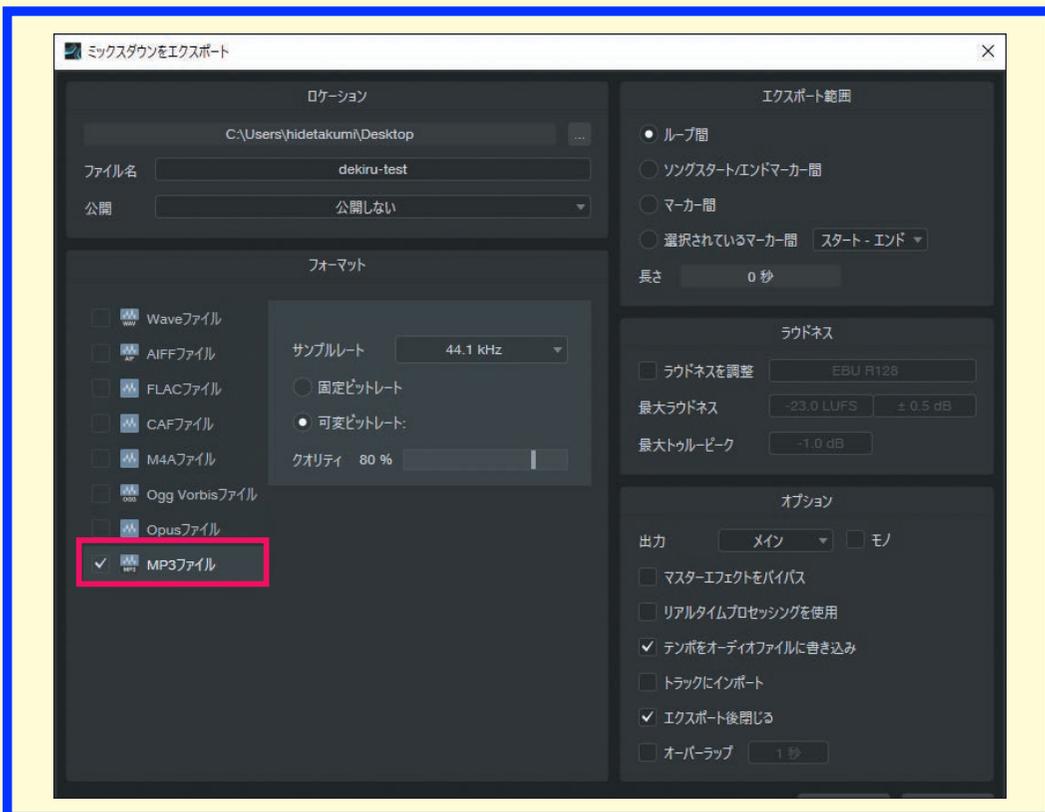
書き出されたファイルをダブルクリックすると、ウィンドウズ10搭載の音楽再生ソフト「Grooveミュージック」が起動して再生が始まります

配信用のデータを準備してみよう

キーワード **フォーマット、MP3、圧縮音源**

書き出した「WAVEファイル」は、オーディオCDと同じ高音質ですが、携帯プレーヤーやスマートフォンに転送したり、インターネットで配信したり、メールに添付して送ったりするには、ファイルの容量が大きすぎて不便なこともあります。そんな時にはファイルの容量が小さい「MP3ファイル」が便利です。

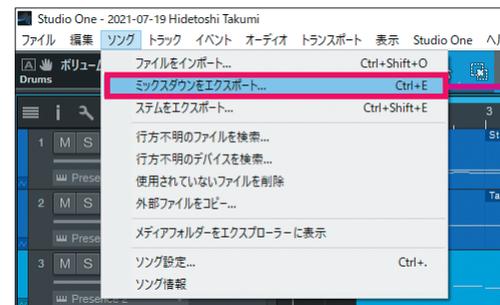
ファイルの容量を圧縮したオーディオ形式の「MP3 (エムピースリー) ファイル」で書き出してみます



「Studio One Prime 5」には「MP3」フォーマットで書き出す機能が搭載されています。MP3フォーマット以外の各種フォーマットも必要に応じて選択が可能です。

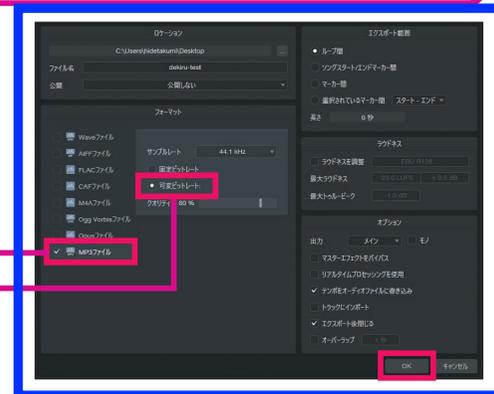
※ダイアログ内のデザインが一部変更されました。

1 選んだ範囲を、MP3フォーマットで書き出します



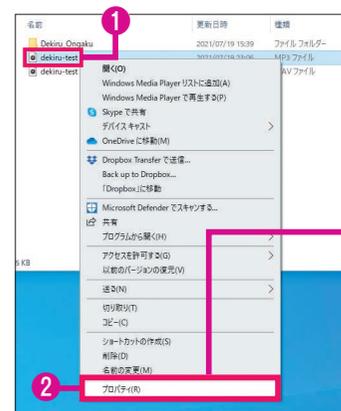
レッスン49と同じように「ソング」メニュー→「ミックスダウンをエクスポート…」をクリックします

- 1 フォーマットを「MP3ファイル」に変更します
- 2 ここでは「可変ビットレート」をチェックして、OKをクリックします



書き出しの作業が終わると「デスクトップ」に書き出された「オーディオファイル」が表示されます

2 書き出されたMP3ファイルのフォーマットとサイズを確認してみましょう



- 1 デスクトップにコピーされた、オーディオファイルのアイコンにカーソルを合わせて、そのまま右クリックします
- 2 メニューが表示されるので「プロパティ (R)」にカーソルを合わせて、そのままクリックします



ファイルの種類が「MP3ファイル」で、ファイルサイズ (ファイル容量) が小さくなっていることを確認したら「OK」をクリックして閉じます